

# FOCUS vol.185



## ●書くことが好きな、とある文学少女の物語

武田さんが初めて本を書こうと思ったのは小学4年生の頃。大好きだった『ハリー・ポッター』シリーズに影響され見よう見まねで書き始めた。当時は物語を完結させることはなく、誰かに読んでもらうこともなかったという。それでも書くことはやめず、高校では文芸部に所属。自分の書いた小説を人に見せるようになった。

「大学に入ったら出版社に自分の小説を見てもらいたいと思っていました」。進学後、彼女が執筆した1つの小説で転機が訪れる。第8回日本ラプストリー大賞に応募したその小説、『今日、きみと息をする。』が出版社の目に止まったのだ。『本を出しませんか』と連絡をもらったときは詐欺かと思いました」と少し照れたように話す武田さん。こうして彼女は作家デビューを果たした。

そんな彼女も普段はごく普通の大学生。美術サークルに入り、塾講師のアルバイトをしている。その中で、忙しい大学生活と作家活動の両立には苦労することも多いようだ。長期の休みなどに一気に書き上げるのが彼女のやり方だが、「サークルの合宿後に死にも狂いで書いた原稿を100枚くらいカットされたこともある」と苦笑いする。

作品の登場人物は実在の友人がモデルになっていることが多い。自分や身近にいるいろいろな人々からヒントを得て、1人のキャラクターをつくり上げる。2作目『響け！ ユーフォニアム』北宇治高校吹奏楽部へようこそ』では自身が中学時代に所属していた吹奏楽部が舞台となっている。タイトルに入っているユーフォニアムは武田さんが吹いていた思い入れのある楽器だ。「リアルに近い話を書きたかったので、後輩にも

部員の友情や恋愛、人間関係など生々しい話をたくさん聞いて参考にした」。小説はフィクションの世界だが、誰もが経験する青春を舞台にするからこそリアリティを求める。

「チャンスをつかめたらもつと本を出したい。青春小説だけでなくミステリーとかも書いてみたい」。大好きな「書くこと」を夢として追いかける彼女の物語は始まったばかりだ。

(聞き手) 楳麻采子

### 配信・発行 (C) UNN関西学生報道連盟

〒750-0011 大阪府北区西中島4-2-24 TEL: 06-6341-1141  
F O C U S 社 神戸大学ニュース社 事務局 同報社大学 PRESS 編集部 NEWS  
立命館大学 立命館大学 NEWS 編集部 大阪大学 POST 編集部 関西大学 タイムズ 編集部 神戸女  
学院大学 K. C. Press 編集部 京都大学 大学 藤花通信編集部 京都大学 EX PRESS  
編集部の共同編集による週刊「リーパー」です

「出版社の担当者さんと打ち合わせがありました……」と忙しそうにやって来た武田綾乃さん。現役大学生作家で、大手出版社から2作の青春小説を世に出した。「友達に本のことを言われるのは恥ずかしい」と話す彼女は、ごく普通の同志社大2年生。「純粋に書くことが好き」と語る彼女に迫る。